

天然ガスや食料が高騰

政権交代が決まってから、経済に大きな変化が起きた。為替レートは円安の動きが顕著になり、輸出に關わる企業関係者はこの動きに期待している。そうした期待感もあってか株価も順調で、海外からも日本の回復を期待した株式の買い注文が集まっているという。

伊藤 元重 機構開発研究所 東大教授 総合事務局長

者の悲しい性<sup>性</sup>かも知れない。ただ、格が上昇する。これは日本経済に济をよくするために投資しているわけではない。そして、市場の投資資金は買いと売りのタイミングをツねに見ている。

さて、為替レートが円安方向に動いているということは、安倍政権の下でさらなる金融緩和が進むという期待感があるからだ。これは確かに好ましい流れをつくる原

格が上昇する。これは日本経済に济をよくするために投資しているわけではない。そして、市場の投資資金は買いと売りのタイミングをツねに見ている。

海外投資資金が本場に日本買いで動いていると考える方がよい。海外投資資金は日本の株式は買っているのかもしれないが、円は売っているのだ。そして日本売りで一番心配しなくてはいけないのは、海外の投資資金が日本の国債の売りに積極的<sup>積極的</sup>に動いたときである。

高い国債を売りにでて利益を確保しようとするのは、海外の投資家であれば当然考<sup>考</sup>えることだろう。巨額の債務と赤字の垂れ流しを続ける日本の財政には、それだけのすぎがある。

当面はデフレ脱却のために果敢に財政刺激をするのは必要なことだ。だからこそ、長期的には日本は財政健全化を果<sup>果</sup>たせるといふことを、市場に示さなくてはならない。毎年一兆円ずつ増え続ける社会保障費をどう見直していくのか。このあたりが中長期の重要な課題となる。

### 円安思わぬ落とし穴警戒

因となっている。しかし、よく考えてみれば円が安くなっているということは、円が売られてい

海外の投資資金が日本の株式市場に入ってくることは、一般的に歓迎してよい。おかげで株価も上昇を続けている。しかし、海外の投資家は自分たちの利益のため

#### 財政健全化市場に示せ

この10年、海外の投資資金はつねに日本の国債売りによって利益を確保しようと考えていたふじがある。そうした動きが現実化した時期もある。日本の国債の利回り

\*この記事は静岡新聞社編集局調査部の許諾を得て転載しています。